

# 重点目標一覧表

【平成27年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
<b>重点目標</b> <b>新たな住民自治システムの構築</b>		
1	【地域内分権の推進】 住民自治組織設立に向けた課題の把握・解決、地域振興策にかかる研究・検討及び支援の推進 新たな住民自治に向けた、丸子地域内の団体相互の交流や取り組みの情報共有及び啓発活動 住民自治組織の設立	会議(21回)、先進地視察により地域課題の解決策や振興策の研究と併せ組織のあり方等を協議 広報紙の発行(5回)、各種団体との意見交換会、 タウンミーティング(計19回)の開催による啓発 3月29日丸子まちづくり会議設立(52団体参画)
<b>重点目標</b> <b>次代に向けた丸子温泉郷の活性化</b>		
2	【活性化に向けた取組】 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトの事業の具現化  鹿月荘、クアハウスかけゆのあり方の検討 鹿教湯・霊泉寺の活性化グループ(霊泉寺温泉JUKUプロジェクト等)の活動支援  合併10周年記念及び真田丸放送を契機とした新商品の研究・開発支援並びに県等と連携した丸子温泉郷のPR活動の実施  【鹿教湯温泉の地域課題解決に向けた取組】 コンサルによる老朽化した温泉供給施設の更新計画策定に係る支援  温泉利用に係るニーズ調査への支援	【活性化に向けた取組】 公衆トイレ改修工事完了、国の移住定住促進補助事業申請 地域協議会へ協議依頼、3月協議結果報告書受領、H28年度未までに方針決定 準備段階からの活動支援 会議等参加 12回 上田・松代を巡るバスツアーの商品化支援、県の商談会参加(4回)、中国からの旅行団体受入支援(3回)  【鹿教湯温泉の地域課題解決に向けた取組】 上下水道管の敷設状況等の情報提供により更新計画の素案作成支援 利用者を対象とした温泉供給に関するアンケート実施を支援
<b>重点目標</b> <b>住みやすく環境に優しいまちづくり</b>		
3	【公共交通活性化の推進】 循環バスのネット化による効果の検証とさらなる利用促進 路線バス利用促進 【住みやすいまちづくりへの取組】 災害時情報の収集・発信方法の強化 市営住宅の住環境整備を推進するため、中丸子団地9棟132戸に給湯器設置・給水管整備を実施(3カ年計画：H27・60戸、H28・36戸、H29・36戸) 中心市街地の東西幹線道路を整備し、歩行者の安全や避難所及び公共施設への交通の利便性の向上を図る 排水路の整備改善により、水害に強い市街地を形成 【環境に配慮した取組】 陣場畜産団地跡地を含めた「陣場台地の利活用構想」素案策定 遊休荒廃農地を活用したワイン用ぶどう圃場の拡大及び6次産業化の促進 【可燃ごみの削減と再資源化の促進】 雑がみ回収袋の利用促進及び丸子独自のネット回収の普及拡大 EM菌の活用によるごみ減量法及び生ごみ堆肥化基材(ばっくん)の普及促進 生ごみに含まれる水切り等の啓発活動	【公共交通活性化の推進】 地域協議会から提言のあったルート変更案を検証 センターだよりによる広報、イベント開催時のPR実施 【住みやすいまちづくりへの取組】 無線使用講習会開催、通常業務時の利用促進 給湯器設置・給水管整備事業 24戸 中丸子22号線、四反田箱置線とも工事発注済 ・中丸子22号線(H28.5月末完了予定) ・四反田箱置線(H28.6月上旬完了予定) 洲崎川の排水路改修整備(H28.5月中旬完了予定) 【環境に配慮した取組】 隣接牧場経営者から跡地譲渡の申出あり、現在補助金の取扱を国に確認中、結果を受け譲渡検討 3名のうち1名と1.6haの農地の賃貸借契約を締結 【可燃ごみの削減と再資源化の促進】 丸子地域可燃ゴミ量4,900.4ト(87.7ト・前年度比)削減目標54トに対する進捗率162% イベント開催時における回収袋配布、自治センターだよりで「ネット回収」の記事掲載により啓発活動実施 有線放送、丸子TVによる放送や回覧、イベント時のPR、自治センターだよりへの記事掲載による啓発
<b>重点目標</b> <b>明るく親切で満足度の高いセンターづくり</b>		
4	【明るく親切なセンターづくりへの取組】 接遇向上研修会の実施 接遇向上月間の設定 職員接遇意識調査の実施 来庁者アンケートの実施	公募接遇指導者研修に参加した職員を講師に研修会を実施、50名の職員が受講 10月と3月に接遇向上月間を設定、あいさつ、声かけ、名札着用の3点を重点項目として取り組んだ 2回実施、接遇意識点数は前期：81.2点、後期：82.6点 前年対比1.5ポイント向上(H26：81.1点) 3月に来庁者アンケートを実施、218名回答 来庁者評価は、良い：82.6%、普通：16.9%、悪い：0.5%、良評価は前年対比12.5ポイント向上

評価基準 [ ] : 目標を上回る達成 [ ] : 目標どおり達成 [ ] : 目標未達成の部分あり [ x ] : 全て目標未達成

市長指示事項
・住民自治組織の設立に向けて最大限努力すること。・合併10周年記念としてアイデアを出し、関係部局と歩調を合わせて早めに結論を出して実施すること。・真田丸関連として、丸子地域にゆかりのある資源を活かして気運が盛り上がるよう取り組むこと。・ワイナリー、6次産業化等、仕事づくり・産業化の芽を摘まないよう取り組むこと。・観光客、移住・定住者へのサービスをどう提供するか周辺地域を含めて工夫すること。

担当部局名	丸子地域自治センター
-------	------------

【平成28年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
<b>重点目標</b> <b>参加と協働による活力あるまちづくり</b>		
1	【地域内分権の推進】 「地域まちづくり計画」の策定支援 丸子まちづくり会議の運営基盤づくりに向けた取り組み 市民協働による合併10周年記念事業の実施(協働による各種イベントの開催)	「地域まちづくり計画」の策定(3月末) 運営体制の整備(3月末) 7事業の実施(12月末)
<b>重点目標</b> <b>環境に優しく安全・安心なまちづくり</b>		
2	【可燃ごみの削減】 雑がみ回収袋の利用促進 生ごみ堆肥化基材(ばっくん)の利用拡大 生ごみ減量化機器に対する補助金制度の周知 市のごみ減量化施策に関する啓発活動  【安全性・利便性向上のための市道の整備】 箱置線の計画策定委託(概略設計)の発注 箱置線の事業計画の検討  【市営住宅の住環境整備の推進】 中丸子団地給湯器設置・給水管整備事業  【地域公共交通の利便性向上に向けた取り組み】 現状における課題等の検証 利用状況調査、ニーズ調査 利便性向上及び利用層拡大に向けた検討	可燃ごみ量4,845 t、27年度比 55t(3月末) (H28～32の5年で 274 t、年度平均 55 t)  委託業務発注(9月末) 事業計画検討、地元自治会等での合意形成(10月～3月)  給湯器設置・給水管整備事業36戸(3月末)  公共交通利用促進計画の作成(12月末)
<b>重点目標</b> <b>次代に向けた丸子温泉郷の活性化</b>		
3	【健康をキーワードとした新たな振興事業の推進】 温泉を活用した健康づくり事業(水中ボートウォーク等)実施の支援と募集手段や事業内容の工夫による、参加者宿泊率の向上 自然や温泉の体験による、「住んで良し」を実感できる移住定住の促進 地域おこし協力隊による新たな視点からの活性化推進  【鹿月荘とクアハウスかけゆのあり方等に係る検討】 地域協議会の協議結果報告書を参考に、関係機関や地元自治会等との意見交換を推進  【鹿教湯温泉の地域課題解決に向けた取組】 温泉の増量希望の既存旅館等に対する温泉利用権の追加付与に係る支援 老朽化した温泉供給施設の更新計画を支援	参加者の宿泊率50%以上(4月～3月)  移住者数5家族15人(3月末) 新たな観光振興事業の研究、実施(3月末)  今後のあり方について、方針決定(3月末)  温泉の追加付与(2件以上、7月末) 更新に向けた実施計画の作成(12月末)
<b>重点目標</b> <b>特色を活かした農林業の振興による地域活性化</b>		
4	【地域の特性を生かした農業支援】 ワイン用ぶどうの栽培地の拡大及び新規参入者支援 西内地区を中心としたエゴマ栽培の拡大支援 【連携による地域の6次産業化の推進(地域おこし協力隊の活用)】 6次産業化の実態調査実施 活用可能な地域資源(素材)の発掘 マッチング検討会議の実施  【農業基盤の整備に向けた取り組み】 国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤の整備	遊休荒廃農地再生面積 6ha(3月末) 栽培面積拡大 0.1ha(3月末)  実態調査の実施(12月末) 検討会議の実施(3月末)  平成29年度新規採択を受けるための計画概要書の策定(3月末)

市長指示事項
・可燃ごみの削減について引き続き取り組むこと。・丸子まちづくり会議の運営基盤作りに注力すること。・10周年記念事業については、上手くPRしながら地域のまとまりを表現できるよう取り組むこと。・公共交通については、引き続き課題として取り組むこと。・丸子温泉郷の活性化について大きく脱皮・打開できるよう引き続き努力すること。・農林業の6次産業化を含めてしっかり取り組むこと。